

きれい 甲斐

No.45 JANUARY 2009

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県環境創造課内
TEL.055-223-1503 FAX.055-223-1507 ✉ kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/60200266375.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

やまなし環境活動推進ネットワーク フォーラムのご案内

環境パートナーシップやまなしでは、「マイバッグお絵かきコンテスト」に続く今年度2つ目の新規事業として、「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を(財)やまなし環境財団と合同で開催します。

このネットワークフォーラムは、県内で環境保全に向けた活動を行っている個人・団体の活動発表を通じて、実践的な活動を推進するための具体的な方法を考える機会とするともに、参加者の相互理解とネットワークづくりの推進を図ることを目的としています。

ネットワークフォーラムでは、(財)やまなし環境財団の若宮賞の表彰式のほか、地球温暖化防止とごみの減量化などに関して積極的な取り組みをしている団体から、現在の活動内容や取り組んでいきたいこと、活動にあたっての課題などについて発表します。その後、全ての出席者が参加し、地球温暖化防止とごみの減量化の2つのテーマに分かれて、ワークショップを開催します。

「ネットワークを広げたい」「環境活動を始めたいけれどどうしたらいいの?」という方、「ワークショップに参加してみたい」と興味をお持ちの方など、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆ 日時 平成21年1月24日(土) 午後1時~4時15分(受付は0時30分から)
- ◆ 会場 ぴゅあ総合(男女共同参画推進センター)
甲府市朝気1-2-2 電話055-235-4171
- ◆ 参加費 無料
- ◆ 主催 環境パートナーシップやまなし、財団法人やまなし環境財団

◆プログラム◆

- やまなし環境財団「若宮賞」表彰式・感謝状贈呈式【午後1時~1時30分】
- ネットワークフォーラム【1時30分~4時15分】

<発表内容及び団体(予定)>

- ① 平成20年度の活動報告(山梨県地球温暖化防止活動推進センター)
- ② 生活の見直しとCO₂削減の取り組み(山梨市日下部公民館婦人学級)
- ③ ごみの減量化などの取り組み(山梨県生活学校連絡会)

★参加希望者は、住所、氏名、希望するワークショップのテーマ(①生活の見直しとCO₂削減 ②ごみの減量化 ③どちらでも良いのうちから1つを選択)を記載した申込書(様式自由)を上記事務局あてに送付してください。なお、ワークショップ参加テーマについては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

★申込締切 平成21年1月22日(木)

★駐車台数に限りがありますので、お車をご利用の方は、できるだけ乗り合わせてお越しくださいますようご協力をお願いいたします。

ごみ持ち帰りキャンペーンを実施しました

11月15日、16日に小瀬スポーツ公園で開催された県民の日記念行事において、「ごみ持ち帰りキャンペーン」を実施しました。両日あわせて延べ約60名もの会員が参加して、手作りのプラカードを持ちながら会場内をパレードし、「ごみは持ち帰りましょう!」「リユース食器を使いましょう!」と呼びかけをしました。

また、同会場内では、「マイバッグお絵かきコンテスト」の入賞作品の展示も行いました。



会場内のパレードの様子



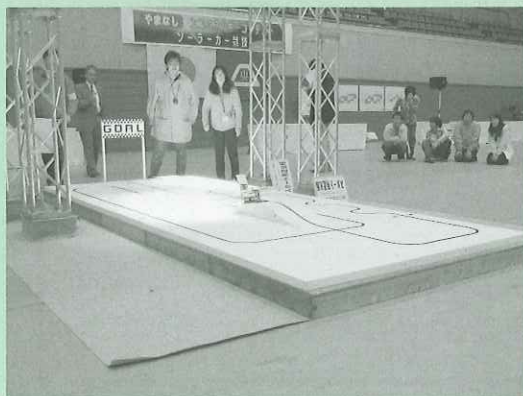
シュプレヒコール



記念撮影

やまなしエコエネルギー コンテストを開催しました

県環境創造課



環境保全や環境教育の推進を目指し、全国有数の長さを誇る日照時間など、本県の豊かな自然環境の恵みであるエコエネルギーを活用したソーラーカーコンテストや工作教室を11月16日に小瀬スポーツ公園で開催しました。

ソーラーカーコンテストは、自律型ソーラーカーが、太陽光を想定し、明るさの濃淡をつけたコース上に設置された障害物をクリアしながら、ゴールを目指す競技です。

当日は、県外からの参加者を含め、21台のソーラーカーにより熱戦が繰り広げられました。

入賞団体は次のとおりです。

| | |
|-------|---------------------------|
| 金賞 | 山梨県立産業技術短期大学校(エコロン) |
| 銀賞 | 山梨県立産業技術短期大学校(Sun-Turn 3) |
| 銅賞 | 愛知工業大学(AIT・E-ePRC) |
| アイデア賞 | 新居浜工業高等専門学校(MARO382号) |
| デザイン賞 | 宇都宮大学(陽東3号) |

この街の空に天の川を

～第10回ライトダウン甲府バレー2008～星つむぎの歌が聴こえる

2008年10月25日午後8時。宇宙飛行士の土井隆雄さんと、歌手の平原綾香さんのカウントダウンに合わせて、甲府盆地の明かりが一つまたひとつと消えていきました。ライトダウン甲府バレーが10回目を迎えた瞬間です。

近年、都市やその周辺では、街の明かりに邪魔されて星が見えにくくなっています。そこで、年に1度、1時間の消灯をお願いし、きれいな星空を取り戻そうというのがライトダウン甲府バレーのねらい。

今年のテーマソングは、平原綾香さんの歌う「星つむぎの歌」。これは、「宇宙連詩山梨版」として県立科学館が中心となって「星への想いを歌にしましょう」と全国から歌詞を募集して作られた歌です。3月にスペースシャトル・エンデバーで2回目の宇宙飛行をした土井隆雄宇宙飛行士の応援歌でもあり、ウェイクアップコールとして宇宙から全世界に向けて発信されました。「この街に暮らす人々が、「星つむぎの歌」を口ずさみながら、明かりを消して星空を見上げる。」「星つむぎの歌が聴こえる」というテーマには、そんな願いが込められていました。

こうして迎えた今年のライトダウン。県立科学館など県内の7つの会場で行われたメインイベントや7月から10月にかけてのイベント。レストランやカフェなどのパートナーイベント。そのすべてをあわせると5000人を優に超える方がイベントに直接参加してくださいました。

また、例年エフエム甲府が放送していたライトダウン特別生放送に、今年は、エフエム富士も参加。初めての「県内FM2局同時生放送」が実現し、東京・横浜を含む関東エリアに向けて発信されました。

さらに、ライトダウン甲府バレー公式情報サイトには、当日の1418アクセスを最高に、10月だけで約8000アクセスを記録。こうした数字のすべてがこれまでのライトダウンを大きく上回りました。多くの人々にライトダウンが認知され、その裾野がさらに広がったと言っていいでしょう。

それ以上に特筆すべきは、消灯に協力して下さる企業や事業所の増加です。昨年には500ヶ所を数えていましたが、今年は倍増の1000ヶ所に及

ぶ消灯協力をいただくことができました。これは、コンビニエンスストアや飲食店チェーンが消灯協力に加わってくださったことによるもので、協力依頼をした店舗等のほとんどがライトダウンの趣旨に共感し、消灯に協力してくれました。また、ここ数年で急に数が増えてきた高層マンションも、住民管理組合として消灯に協力をしてくださったところもいくつかありました。その結果、明らかに普段よりは暗くなった甲府盆地の夜景を目にすることができ、夜空の明るさ調査などを実施している「星空公園」による科学的な計測によると、街の明るさが普段に比べて20%程暗くなっていることが確認されています。

当日の甲府盆地上空は雲に覆われ、星はほとんど見えなかったものの、多くの人たちが「きれいな星空を取り戻そう」という共通の願いを持ち、必要のない明かりを消すという行動をともにすることができたことは、この地域に暮らす人々の誇れるもののひとつになるのではないのでしょうか。ためしに、「ライトダウン甲府バレー」でブログを検索すると次のような記事を見つけることができます。

キホンは、消すことのできる明かりを消すこと。

それだけで、足をはこばなくても参加できる。

ひな壇に立ったつもりで「星つむぎの歌」を歌おう。

同じ気持ちの人がほかにもいるってわかるのかも。

この盆地に暮らしてる喜びを味わえたらいいな。

「きれいな星空を見たい」と始まったライトダウン甲府バレー。「星空づくり」「街づくり」というこの活動の持つメッセージが「星つむぎの歌」によって多くの人々に届きました。この活動が20回、30回と続き、いつの日かこの街の空に天の川を取り戻すことができれば…

「明かりを消した街が手にしたものは、満天の星だけではなく違ったに違いない」（県立科学館プラネタリウム番組「明かりをけて～星降る街のシンフォニー」より）

（跡部浩一 実行委員会事務局）



普段の甲府の夜景(2008年10月24日午後8時)



ライトダウン中の甲府の夜景(2008年10月25日午後8時)

ノーレジ袋キャンペーンを実施します

～東山梨地域環境パートナーシップ会議～

東山梨地域環境パートナーシップ会議では、スーパーマーケットのお客様にマイバッグの持参を呼びかけるノーレジ袋キャンペーンを実施します。レジ袋を減らすことは、ちょっとした心がけではじめられる地球に優しい活動です。地球にやさしい買い物をはじめませんか？マイバッグの持参にご協力ください！



- 実施日時 平成21年1月16日(金) 10:00～11:00
- 場 所 オギノ山梨店・オギノ春日居店・オギノ甲州店
いちやまマート山梨店・いちやまマート塩山店
日向山梨店・日向春日居店・日向三日市場店

会員レポート
Vol.6

「環境保全」への取り組み

峡東ロータリークラブ 会長 秋山常樹

私達、峡東ロータリークラブは1992年「国連地球環境年」に発足したことから、地域社会奉仕や未来を担う青少年の健全育成を目指しつつ、特に環境保護をテーマに活動しています。

- 今年度15回目となる「地球環境を守ろう！ポスターコンクール」は、毎年地域内11小中学校の1200余名の児童生徒さんの参加を得て行われ、その作品は年々向上しています。また優秀作品の地域公共施設への巡回展示を通じて、省資源・ゴミの減量化など環境に対する意識の啓発及び実践の一助になればとも考えています。



峡東ロータリー第十四回「地球環境を守ろう！」ポスターコンクール 表彰式



- また、地域環境美化のため中央道インター入口等の早朝清掃奉仕活動(年6回)を行いながら、同時に私達自身の環境に対する知識習得及び研鑽の場として、学識経験者をお招きして8クラブ合同の研修会も行っています。

現在、環境問題は全地球的な課題です。是非身近なことから「環境保全」を実践したいものです。



清掃奉仕活動



合同研修会

お知らせ

「きれいな甲斐」は送付方法を①郵送、②メール配信、③県ホームページよりダウンロードの3種類から選択できます。現在の送付方法から変更を希望される方は、事務局へご連絡ください。

環境パートナーシップやまなし事務局(県環境創造課内)

TEL: 055-223-1503/FAX: 055-223-1507 E-mail: kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp

投稿募集中

【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所等)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。